

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 古賀 直樹

◆副所長 呂 俐

田代 E-mail: yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

第27回 大連国際マラソン開催

「安川電気 特別招待選手を除き1位・2位独占！」

5月10日に大連国際マラソンが開催されました。中国には三大マラソンがあり、その中国三大マラソンの一つに数えられる大連国際マラソンに北九州市から安川電機のマラソン部の方が3名参加されました。

概要：

今回で27回目の開催となる大連国際マラソンは北京、上海、大連の中国三大マラソンに数えられ、中国国内だけでなく、海外からも選手を招待し、テレビ中継も行われる一大イベントとなっています。

今年は男女フルマラソン、男女ハーフマラソン、男女リレーマラソン、男女10キロマラソン、男女ミニマラソンの5種目が開催されました。参加選手は世界25か国14,980名にのぼり、その大会レベルも年々高まっています。

大会当日は、交通規制が行われるため、選手、観客を含め前日までに配布される市内からの軽軌（大連市内とマラソン会場の金石灘を結ぶ高架鉄道）のチケットを入手しなければなりません。

私たちも応援のため前日に選手のエントリー会場までチケットを受け取りに行きました。そこにはマラソンにエントリーするために選手たちが列をなしており、大会前日にも関わらず、既に熱気が漂っていました。



エントリー会場では中国には珍しく長蛇の列が

大会当日：

その軽軌のチケットを入手した私たちは午前 6 時半に大連駅出発の軽軌に乗り込みました。軽軌にはマラソンに出場する選手で溢れかえっており、みなさん大連国際マラソンのナップザックを背負い、意気込み十分といった感じ。結構高齢の方も見受けられ、中国でのマラソン人口の裾野の広さを実感しました。電車に揺られること 1 時間強。マラソンの会場である金石灘に到着。金石灘は黄海に面した海岸線が非常に美しい所です。駅を出ると別荘地やゴルフ場、テーマパークが点在し、中国東北部随一のリゾート地というのも頷ける景色が広がっています。

歩くこと約 1 キロでスタート地点に到着すると、既に海外からの招待選手と思しき選手たちの姿がちらほら…。いかにも「マラソン選手」といった感じで見ると早そうです。その招待選手の後方 50m 程のところには一般参加選手がひしめき合っており、マラソンクラブの横断幕を持った人や日本で馴染みドラゴンボールの孫悟空の衣装をして写真を撮られている人（この方は後日の大連晩報という新聞にも報道されていました）、準備運動に余念のない人、様々です。



準備に余念のない海外の招待選手たち



記念撮影をせがむ警備の武装警察

一方、応援席の方を見ると、華やかな衣装に着替えた諸姉たちが音楽に合わせてダンスを踊り、既にノリノリ。ステージでは別の団体が新体操やダンスが披露され、ちょっとしたお祭りといった雰囲気です。



写真撮影に応じる孫悟空



スタート地点で舞う女性たち

スタート：

いよいよ8時半のスタート時間となりました。スタートの号砲とともに一齐にスタート。残念ながら、安川電機の方々は自己申告タイムが2時間20分を切っておらず、一般の選手と共にスタートとなりました。必死で安川電機の選手の姿を探すも、見つけられず。後でお聞きした話ですが、件の選手は一般選手よりも勿論早いで、スイスイと間を縫う様にトップ集団付近まで走り抜けたとのことでした。

優勝賞金：

スタートから待つこと2時間13分過ぎ。一位の選手が戻ってきました。今回トップでゴールをしたのは、エチオピアの選手でした。アフリカからの招待選手は賞金を稼ぎに来ており、本気度が一般選手とは格段に違います。それもそのはず、一位は3万米ドルですから。組織的な走りをし、皆で山分けというスタイルの様です。

トップ集団選手がゴールしてから待つこと暫し。黒色の安川電機のユニフォームを着た立石選手がゴールに飛び込んできました。記録は2時間36分04秒で16位。続いて2時間57分33秒で安川電機の村瀬選手、3時間20分01秒で下森選手がゴール！

エチオピアやケニアといった賞金稼ぎチームがトップ15位までを独占はしたものの、安川電機の立石選手、村瀬選手はスタート地点が別の特別招待選手の除き1位2位は安川電機の選手という、なんとも北九州市民には嬉しい結果となりました。



アジア勢トップでゴールする立石選手



ゴール後の下森、立石、村瀬三選手

選手の感想：

3名の選手にゴール後お伺いしたところ、当日のレースは折り返し地点以降の向かい風が強く苦しいレースだったとのことでした。また、給水ポイントでは水しかなく、バナナ等の栄養を補給するものが無かったのもきつかったとのことでした。

立石選手、村瀬選手、下森選手の3選手は42.195kmの長距離を走られた後にも関わらず、爽やかに大連の現地フリーペーパーの写真撮影にも応じておられました。北九州市大連事務所にとっても三選手の完走と、素晴らしい記録は誇らしいものでした。改めて、選手の皆様お疲れ様でした！

親日都市・大連ならではの！ 日中文化交流イベント

MA-TSU-RI 2014 開催

5月31日の午後から大連留学生社団が主催する日本の夏祭りイベントが大連市内の中心部にある大連市第十六中学校で開催されました。

今回で4回目の開催となる「MA-TSU-RI 2014 ～夏之夜～」が5月の最終土曜日に開催されました。大連では恒例となっているこのイベントは、日本の文化である夏祭りを再現し、中国の人々にも日本文化を感じてもらい、日本人や日本文化に対する理解を深めてもらおうという趣旨で開催されています。



中学校の入口に掲げられた日本語と中国語の歓迎メッセージ

当日は、会場の十六中学の運動場の中心には、やぐらが組まれており、それを取り囲むように、日本の夏祭りの代名詞である焼き鳥の屋台があったり、金魚すくいや縁日のブースが設置され、正に日本の夏祭りそのものでした。餃子の王将や博多華味鳥が出展し、餃子や唐揚げを販売しており大変な賑わいを見せていました。



やっぱり日本料理は人気の様子



浴衣美人コンテストの出場美女たち

食べ物の屋台も人気でしたが、浴衣の着付け体験や浴衣美人コンテストも盛り上がりを見せていました。

日中両国のイメージ低下が叫ばれて久しいですが、日本から来た留学生が主体となりこのようなイベン

トが開催され、報道だけでは伝わらない生の日本人、中国人を知るきっかけとなることは、私たち中国で活動する駐在員には非常にうれしいことです。この様な民間の交流が更に活発となることを期待しております。